

ワンチームで「広島で学んで良かったと思える広島で学んでみたいと思われる日本一の教育県の実現」を!

# 県連小速報

令和6年度 No 3

9月17日発行

広島県連合小学校長会事務局  
広島市東区光町一丁目 11-5-1003  
TEL082-263-6381 FAX082-262-3822  
E-Mail: kenrensho@do8.enjoy.ne.jp

## 👉 県連小第3回理事会を開催 👈

第3回理事会は、9月4日(水)午後2時から、東区民文化センターで開催されました。

開会に先立って、広島県教育委員会個別最適な学び担当 人材育成担当 主任指導主事 取違 亜希子様から、「教職員の職能成長とウェルビーイングを実現する人材育成の在り方」～「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」の活用等の視点から～と題して指導講話をいただきました。



講話の後、教育弘済会広島支部長 河野 一則様から本校長会への30万円の研究助成金の贈呈式を行いました。こちらは、予算案の「補助金・助成金」の費目に示していたものです。



今年度も申請したところ承認されました。会員の減少等で収入減が続く中、このような助成金がいただけることは大変ありがたく、有効に活用させていただきます。

## 1 広島県連合小学校長会教育研究大会東部大会について

今年度の教育研究大会は、5年ぶりのフルモードの開催で、参考にしたり、これまでの資料を使ったりすることができない、かなりハードルの高い開催にも関わらず、見事に成功裡に、大きな成果を収められ終了しました。

衛藤朋弘理事や横松和義実行委員長は、それぞれ異口同音に、「尾道市小学校長会の会員の強い結束力、何度も回数を重ねた入念な準備、三原市の協力」について言及されました。また会場選定にあたっては、少ないスタッフでも運営できる、会員の移動に負担がかからないという視点で決定されたとのことです。三原市小学校長会は拡大実行委員会、当日の分科会運営や、当日の炎天下での駐車場係等で貢献されました。

写真は、終了後に山田会長が尾道市のスタッフにお礼のあいさつを述べられているところですが、山田会長はいたるところで、三原市小学校長会への感謝の気持ちも口にされていました。



講師の西山喜久恵氏は、講演後、「校長先生方は聴き上手で、すごく話しやすかった」と言われていたそうです。

分科会の計画、運営に携わり大会をともに作り上げてきた教育研究委員会。花田修委員長は、来年度の北部大会もそれぞれ日程に入れ、各学校で行事を組まず、全員参集の熱のこもった会にしましょうと、理事会でメッセージを送られました。

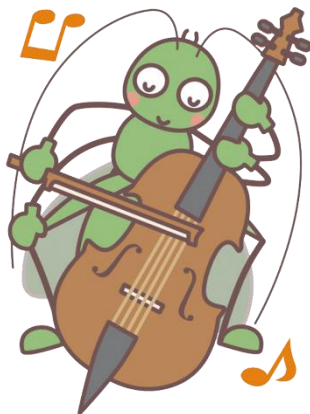


## 2 「小学校教育の充実に関する文教施策及び予算について」

県連小として、今年度も広島県教育委員会に対して標題の要望書を提出、意見交換を行います。各種調査等をもとに関係委員会、幹事会で案を作り、今回の理事会に諮ったところですが。どんな要望をどのように伝えるか検討を重ね、要望書は年々充実していると感じます。

県教委は、要望書の記載内容や意見交換会で出された意見を受け止め、実現に向けた努力をしてくださっています。今年度は、そういったことへのお礼も述べながら、改善されない厳しい現状を具体的にお伝えする方向で要望書の作成と意見交換会を実施します。

今年度も、要望書作成のための調査を行った教育調査委員会、人事給与委員会の委員長も意見交換に出席するとともに、教育委員会からも関係課長様にご出席いただき、現場の声をより詳細にお伝えするように努めています。



## 3 全連小対策・調研担当者連絡協議会について

10月11日(金)、福岡市において開催されます。内容は、次の通りです。

**対策部会**（教育調査委員長 尾道市立日比崎小学校 石原政信校長）

①特別部会の審議を踏まえて、学校における働き方改革や処遇改善について

②教員不足の状況と、教員の確保・質の向上の取組について

**調査研究部会**（人事給与委員長 呉市立昭和西小学校 阿部貴志校長）

①教員の資質向上に向けた取組について

②学習指導要領全面实施5年目に係る取組状況と課題について

この連絡協議会は全国を3地区に分けて毎年開催されます。出席する二人の委員長様はテーマにそって全連小から依頼のあった質問について、事前に2枚のレポートにまとめ、それをもとに協議に臨みます。

その内容は委員会で報告するなど、校長会に還元されています。

## 4 9月以降の不祥事防止対策重点目標

理事会の中で開催する不祥事防止対策特別委員会において、不祥事防止アンケートの県連小分の結果分析をもとに協議を行いました。

管理職の意識を問う項目について、いずれの数値も高い数値になっているなど、取組の成果が表れている項目が多かった半面、設問 28「欲求や感情をコントロールし、円滑な人間関係を築いていく力を高めさせる取組を行っている」の評定数値が低く継続課題となり、引き続き取組を重点化します。

令和6年7月1日に県公連から発出した「不祥事の根絶に向けて(緊急アピール)」にも示してあるように、今後、新たな取組を行うのではなく、これまで県公連として取り組んだことを再徹底して取り組んでいくこと、また、その過程で県教委が出した研修資料や過去の好事例資料を積極的に活用することなどが、県公連不祥事防止対策特別委員会でも話題になりました。

そこで県連小としましては、今後、次の2項目を重点に取り組むこととしました。

### 令和6年度〈後半の取組〉

- ① 校長が回答した不祥事防止のためのアンケートについて、その内容を教頭等と共有化して、自校の取組に生かす。
- ② 不祥事の防止を目的とする研修等において、個々の教職員が自己を振り返る取組を意識して取り組む。

## ▶▶▶▶ 県連小事務局から ▶▶▶▶

### ◎ 令和7年度の学校数の見込みについて

令和7年度予算作成のため来年度の学校数を調べています。現在のところ、今年度より5校減で、全県では436校、広島市を除くと296校になる見込みです。

### ◎ 来年度(令和7年度)の主な行事予定

県連小第1回理事会	4月18日(金)	東区民文化センター
県連小総会・研究大会	5月15日(木)	県民文化センター
全連小総会	5月23日(金)	東京都
県連小北部大会	8月 日( )	期日・場所とも調整中
中国地区岡山大会	11月21日(金)	倉敷市
全連小福岡大会	10月16日(木)・17日(金)	福岡市

